

訪問歯科新聞<6月号>

～入れ歯のカビ～

6月に入るとじめじめした梅雨に季節になりますね。湿度が上がると、お風呂や、流し台にカビが生えやすくなります。このカビ実は入れ歯にも生えるのです！！

お口の中にはさまざまな細菌が常にいます。その中にはカビ(カンジダ菌)もいます。常に湿っていてカビにとってはとても居心地のいい環境なのですが、普段は特に悪さはしません。しかし、抵抗力が落ちると白い苔状に表れます。特に入れ歯の表面は眼では見えない細かいデコボコが無数にあります。そこにこのカンジダ菌が入り込み、お手入れを怠ると繁殖してしまいます。そうした入れ歯をお口に入れておくと、入れ歯と触れている歯ぐきや舌にもカンジダ菌が繁殖してしまい痛みの原因にもなります。



カビの生えた入れ歯



口腔内に繁殖したカンジダ菌

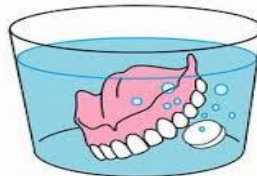
ここで大切なのは、毎日の正しい入れ歯の洗浄です。

普通のブラシでもかまいませんが、入れ歯用の歯ブラシをお使いいただくより効果的です。バネの部分は特に義歯ブラシの尖った方が良く磨けます。

ただ、ブラシでこすっただけでは入れ歯の細かいデコボコに入り込んだ細菌や食べかすは取り除けません。かといって、歯磨き粉を付けてごしごし擦るのでは義歯を傷つけてしまいます。そこで有効なのが洗浄剤です！夜外した際には洗浄剤に浸けることにより除菌することができます。洗浄剤は週に2～3回

洗浄剤は一般的にお水に錠剤を入れて一晩浸け置きする物が多いですが、中には泡を入れ歯に乗せて90秒ほどこすり洗いすると、浸け置きタイプと同じだけの除菌効果が得られるような物も発売されています。

ご自身の生活スタイルにあった使いやすい物と選びましょう♪



入れ歯用ブラシ



カンジダ症になってしまったら...

お口の中に白い苔のようなものが生えてきているようならばカンジダ症の可能性がります。内科や歯科の先生に診てもらい、**抗真菌薬**を処方してもらいます。また、普段飲んでいるお薬が原因の場合もありますので、よく担当の先生と相談しましょう。カンジダ症には白くなるもの以外にもありますので、お口の中に違和感や気になることがあれば、内科か歯科の先生に相談しましょう。放置しておくと肺炎などの深部感染症になってしまう可能性があります。まずは、原因菌を増やさないためにもしっかり入れ歯を洗浄し、入れ歯はかならず定期健診を受けて予防しましょう。

